

福井県生活学習館(1/2)

ユー・アイふくい

応援します！
心豊かな生活と学び心を

所在地	福井市下六条町14-1		
設置年月日	平成7年7月1日		
施設の種類	会館	施設管理主体	県
設置の目的	男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延9,322㎡ 多目的ホール・映像ホール・各種学習室・情報ルーム(図書・ビデオライブラリー)・映像制作室		
職員数	職員19人、非常勤嘱託7人 アルバイト2人 計28人		

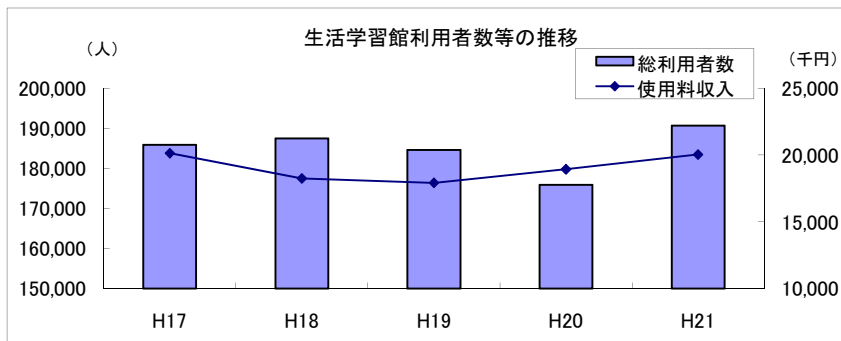
利用状況等

	H17	H18	H19	H20	H21
施設利用者数(人)	152,037	153,315	150,499	141,685	154,841
情報ルーム等利用人数(人)	33,811	34,137	34,137	34,178	35,849
合計人数(人)	185,848	187,452	184,636	175,863	190,690

利用者負担(利用料金)等

多目的ホール、学習室等施設の使用に当たっては、条例に規定されている使用料を徴収します。
情報ルーム無料

施設HP「施設利用案内・使用料の一覧」参照



利用状況の推移	<p>平成17年度から平成19年度まで、年間施設利用者が15万人台を維持していました。ところが、平成20年度の施設利用者数は、19年度末からの世界的な不景気の影響により、一時的に落ち込み、14万人台になりましたが、平成21年度は15万人台に回復しています。</p> <p>平成21年度の総利用者数は約19万人となりました。これは、施設の利用人数が伸びたことに加え、女性活躍支援センターが本格的に稼働したことによるものです。</p>
---------	---

施設の特徴

施設

男女共同参画と生涯学習センターの機能を兼ね備えた複合施設として、各種の学習や講座、研修、講演に対応した施設・設備を備えています。



仕事と家庭の両立支援セミナー

男女共同参画社会づくりの促進

男女共同参画に関する総合的な学習の場として「ゆー・あいカレッジ」を開設し、コース別に体系化して、効果的に実施しています。

また、あらゆる分野で活躍する女性のキャリアづくりを支援する「ふくい女性活躍支援センター」では、キャリア相談や働く女性のネットワークづくりなどを実施しております。

また、女性総合相談・配偶者暴力被害者相談などを

生涯学習社会の推進

「いつでも、どこでも、だれでも」生涯にわたって学習することができる生涯学習社会を創造するため、指導者の養成や学習機会の提供、学習活動の促進など5つの事業を中心に内容の充実を図りながら実施しています。

特に、福井ライフ・アカデミー事業では、主催講演・講座の開催をはじめ、市町・大学等との共催・連携事業により、県民の多様な学習ニーズに応えています。

各市町の学習機関などの学習情報を系統的、継続的に収集、整理して提供しています。

また、県民がボランティア講師となって自主的に運営する学習講座「友愛塾」の開設も推進しています。



現代の課題講座

生活学習館ホームページ

<http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/>

平成21年度の特徴について

事業実績	<p>施設の利用実績 190,690人</p> <p>・ゆー・あいカレッジの開設 延受講者数 3,660人 (6,041千円) 1 男女共同参画推進リーダー養成コース 地域リーダー講座修了生 21年度末 339人 2 参画応援コース 3 男性コース 4 キャリア・アカデミー 5 女性のチャレンジ支援コース</p> <p>・女性総合相談 相談件数 1,084件 ・女性キャリア相談 相談件数 277件</p>
	<p>・生涯学習指導者養成 (747千円) ・福井ライフアカデミー (7,383千円) 入学生数 10,105人 主催講座 地域貢献・地域づくりを学ぶ 地域活動講座 ふるさと福井について学ぶ 郷土学習講座 現代的課題について学ぶ 現代的課題講座 パソコン講座</p> <p>・学習活動促進のためマナビ・フェスティバル2009開催 (686千円) ・生涯学習相談 相談件数 8,752件</p>

福井県生活学習館(2/2)

行政コスト計算書(平成21年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	210,159	45.9%	92.3%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	皆減
	賞与引当金繰入	10,185	2.2%	100.0%
	計	220,344	48.1%	96.7%
物にかかるコスト	物件費	130,321	28.5%	91.9%
	維持補修費	3,611	0.8%	43.4%
	減価償却費	101,400	22.1%	100.0%
	計	235,332	51.4%	93.6%
その他	支払利息	0	0.0%	-
	その他	2,269	0.5%	97.0%
	計	2,269	0.5%	97.0%
合計		457,945	100.0%	95.1%
収入	利用料等収入	24,877	5.4%	131.3%
	一般財源	433,068	94.6%	95.0%

バランスシート(平成22年3月31日現在) (単位 千円)

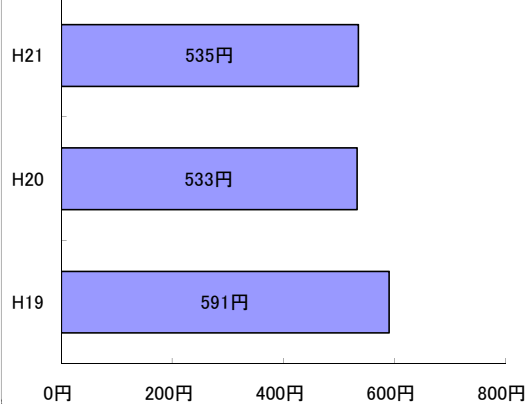
借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	3,882,901	97.5%	固定負債	147,953	93.0%
うち土地	254,039	101.6%	うち退職手当引当金	147,953	93.0%
うち建物	3,437,980	97.3%			
投資等	0	-	流動負債	9,576	皆増
流動資産	0	-	純資産	3,725,372	97.4%
計	3,882,901	97.5%	計	3,882,901	97.5%

主な指標 (単位: %、円/人)

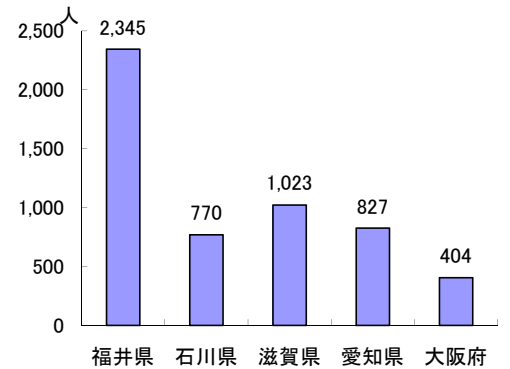
	H21	H20	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	4,797	4,904	97.8%
県民1人あたり将来負担額	183	173	105.7%
世代間負担率	95.9	95.8	100.1%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>貸借対照表の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産の内訳は土地、建物、設備であり、将来の財政負担要因となる負債についても施設の公債費償還が完了していることから退職手当引当金のみとなっています。 <p>損益計算書の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進および生涯学習の推進の講座開設をはじめとした事業実施のため、人にかかるコストの割合が高くなっています。 生活学習館主催の講演・講座の受講や情報ルームの利用は無料であるため、利用料等収入の割合は低くなっています。 なお、H20年度に比べ利用料等収入が増加しています。これは、施設の利用率が向上したためです。 20年度と比べ21年度は県民1人あたりのコストはほぼ横ばいです。今後もコスト削減に努めてまいります。 1万人あたりの利用者数については、生活学習館が男女共同参画と生涯学習の機能を持つ複合施設であることから、単独施設に比べ多くなっています。
	施設の目的上、管理運営上、主要な事業
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 平成23年度に予定されている『(仮称)第2次福井県男女共同参画推進計画』の改定に対応し、多くの女性が地域や職場で責任ある役割を担い、優れた能力を存分に発揮できる「女性活躍社会」の実現をめざすための新たな取組みを行っていくことが必要です。 多様化、高度化する県民の学習ニーズに対応した講座の提供と満足度の向上による受講者の増により、県民のコスト負担に応える必要があります。 多くの県民に等しく学習機会を提供するなどの取組みを進めることが必要です。 施設利用者総数を増やし、資産の有効活用を図ることが必要です。
今後の事業方針、取組み内容	<ol style="list-style-type: none"> 女性活躍支援センターを中心に、高い資質を備えたリーダーを養成するための講座の開催や働く女性のネットワークづくりを進めます。 県民の学習ニーズに沿った講座内容等に努めます。 企業出前講座や大学開放講座の充実、生涯学習情報ネットワークシステムを活用した市町との情報連携の強化、講座のネット配信などの充実を図ります。 充実した施設、設備の紹介だけではなく、無料バス(フレンドリーバス)や大駐車場などアクセスや周辺環境の広報素材を工夫し、積極的な広報に努めます。

県民1人あたりのコスト負担の状況



人口1万人当たりの府県立男女共同参画センターの利用者数比較(平成21年度)



※利用人数(国立女性教育会館女性関連施設データ)